

## 糖尿病ってなに？

私のクリニックには糖尿病と言われて新患として来院する方は1ヶ月に約20名いますが、その状況は千差万別です。なにしろ糖尿病は、よほど進行していないと典型的な症状（口渇、多飲、多尿、体重減少）が出現しないのですから。体調不良の原因が糖尿病によるものだと気付かないのが、状態を悪化させる要因でもあるのです。

池山さんの例を紹介しましょう。この方は52歳の女性です。昨年夏過ぎから、左眼の奥に痛みがあり、視力が低下しました。放置していましたが、今年1月に眼科を受診したところ、糖尿病の疑いがある、ということで当院にやってきました。前に述べたような典型的な症状はありません。しかし、初診時の空腹時血糖は262 mg/dl、HbA1cは13%でした。この日になるまで一度も糖尿病といわれたことはありませんでしたが、視力の低下した原因は糖尿病網膜症でした。糖尿病網膜症は糖尿病の3大合併症のひとつで、眼球の中にある網膜という膜に走っている細かい血管が、高血糖の状態が長く続くことにより出血することを言います。つまりこの人は、知らないうちに糖尿病になり、合併症にもなっていたこととなります。

糖尿病の典型的な症状のあった福家さんの場合を紹介します。70歳の男性です。1ヶ月前よりのどが渇きました。口渇です。しかし、他には何の症状もなく元気でした。視力が低下して眼科を受診しましたところ“糖尿病”と診断され当院を受診しました。来院時の食後血糖値は580 mg/dlで、HbA1cは14%でした。この人は糖尿病と言われて本当に驚いていました。

このように糖尿病の症状はそれが糖尿病によるものであることに気付きにくいのです。症状がないのが症状ということにもなります。健康診断や眼科で見つかることが多いのですが、症状がないために放置されがちです。糖尿病は自覚症状のないまま進行し、突然合併症を引き起こします。“糖尿病では？”と思ったら早めに医療機関を受診することをお勧めします。

HbA1cとは…

過去1～2ヶ月の平均的な血糖状態がわかる検査です。望ましい値は5.7%以下です。

